地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	十和田市 02206
地域名 (地域内農業集落名)	伝法寺地区 (荊窪、泉田、伝法寺、本町、盲沼、大窪1、一本松1、桜平2)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	595.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	508.7 ha
② 田の面積	377.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	217.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	66.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.6 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	132.7 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	69.4 ha
(備考)遊休農地面積0.5ha(うち1号遊休農地0.5ha、2号遊休農地0.0ha) ⑤は、伝法寺地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

傾斜地や沢地の多い中山間地域だが、米、野菜を中心とした複合経営が行われており、麦・大豆等の畑作物の生産も盛んである。また、一部では直売所(道の駅)を活用した生産物・加工品の販売も行われている。今後は、地域農業の維持を念頭に、農地バンクを活用し、高齢農業者等から担い手への集積を図りながら、農地の有効活用を進め、新たな耕作放棄地の発生を防ぐ。集落営農も組織されているが構成員の高齢化も進んでいるため、後継者の確保が求められている。若い農業者が少なく地域の高齢化が進んでいるため、どのように若い人を確保するかが課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

米と野菜(主要品目であるにんにく、ながいも、ごぼう)の複合経営を中心に、集落営農組織による農作業の効率化を図っている。地域の状況を見ながら、有機栽培や減農薬栽培に取り組んでいく。農業者の高齢化に対応するため、農作業の効率化を目指しスマート農業を積極的に導入していく。担い手を中心に農地の集積・集約化を進めるほか、地域の内外から多様な経営体の新規参入を促していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めながら担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	60.9 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積は357.6ha(令和5年度時点)となっており、令和12年度末までに469.9haとすることを目標とする。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、農地利用最適化推進委員等と連携して農地バンクを通じて取り組んでいく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地バンクに貸し付ける。担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人も同じく、原則として農地バンクを活用していく。
(3) 基盤整備事業への取組
未定
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体の新規参入を促し、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、県、市、農業委員会及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業の効率化のため、必要に応じてJA十和田おいらせや他事業者へ農作業を委託する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☒ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

<p>【選択した上記の取組内容】</p> <p>①鳥獣被害を未然に防ぐため、地域内で連携して被害対策を講じていく。</p> <p>②地域の状況を見ながら、有機栽培や減農薬栽培に取り組んでいく。</p> <p>③農業者の高齢化に対応するため、農作業の効率化を目指しスマート農業を積極的に導入していく。</p> <p>④水田としての利用を行わない田は計画的に畑地化に取り組む。</p> <p>⑤果樹栽培に取り組むことで収益性の向上を図る。</p> <p>⑥資源作物等の作付けを行うことで、新たな需要に対応していく。</p> <p>⑦農業上の利用が難しい農地は、適切に保全・管理を図っていく。</p> <p>⑧経営規模の拡大を目指す経営体においては、農業用施設の増棟を検討する。</p> <p>⑨耕畜連携を継続して実施することで、持続可能な農業経営を実施する。</p>

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
別紙1のとおり									
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和12年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 認農1	水稲、大豆、にんにく、その他野菜	8.00 ha	ha	水稲、大豆、にんにく、その他野菜	10.00 ha	ha		
2	認農 認農2	水稲、大豆、そば	39.50 ha	ha	水稲、大豆、そば	39.50 ha	ha		
3	認農 認農3	水稲、小麦	6.30 ha	ha	水稲、小麦	6.30 ha	ha		
4	認農 認農4	水稲、牧草、牛	0.50 ha	ha	水稲、牧草、牛	0.50 ha	ha		
5	認農 認農5	水稲、大豆、ながいも	4.00 ha	ha	水稲、大豆、ながいも	4.00 ha	ha		
6	認農 認農6	ごぼう、にんにく、ながいも	3.00 ha	ha	ごぼう、にんにく、ながいも	5.00 ha	ha		
7	到達 到達1	水稲、大豆	2.75 ha	ha	水稲、大豆	2.75 ha	ha		
8	認農 認農7	水稲、大豆、にんにく、その他野菜	30.00 ha	ha	水稲、大豆、にんにく、その他野菜	40.00 ha	ha		
9	認農 認農8	水稲、そば、その他野菜	1.00 ha	ha	水稲、そば、その他野菜	1.00 ha	ha		
10	認農 認農9	にんにく、ねぎ、その他野菜	3.00 ha	ha	にんにく、ねぎ、その他野菜	5.00 ha	ha		
11	認農 認農10	水稲、牧草、牛	1.50 ha	ha	水稲、牧草、牛	1.50 ha	ha		
12	認農 認農11	ごぼう、にんにく、ながいも、その他野菜	20.00 ha	ha	ごぼう、にんにく、ながいも、その他野菜	25.00 ha	ha		
13	認農 認農12	水稲、そば、その他野菜	2.90 ha	ha	水稲、そば、その他野菜	2.90 ha	ha		
14	利用者 利用者1	水稲、大豆	18.00 ha	ha	水稲、大豆	18.00 ha	ha		
15	到達 到達2	水稲、そば、ごぼう	13.20 ha	ha	水稲、そば、ごぼう	13.20 ha	ha		
16	認農 認農13	水稲、そば、にんにく	13.00 ha	ha	水稲、大豆、にんにく	15.00 ha	ha		
17	認農 認農14	水稲、大豆、牧草	3.50 ha	ha	水稲、大豆、牧草	2.00 ha	ha		
18	利用者 利用者2	水稲、そば	2.50 ha	ha	水稲、そば	2.50 ha	ha		
19	認農 認農15	水稲、大豆、ながいも、その他野菜	6.00 ha	ha	水稲、大豆、ながいも、その他野菜	12.00 ha	ha		
20	認農 認農16	水稲、ごぼう、にんにく、ながいも	3.80 ha	ha	水稲、ごぼう、にんにく、ながいも	4.80 ha	ha		
21	認農 認農17	水稲、大豆、にんにく、ながいも	5.00 ha	ha	水稲、大豆、にんにく、ながいも	5.00 ha	ha		
22	認農 認農18	水稲、大豆、ごぼう、にんにく、ながいも	25.30 ha	ha	水稲、大豆、ごぼう、にんにく、ながいも	37.00 ha	ha		
23	認農 認農19	水稲、にんにく、その他野菜	3.90 ha	ha	水稲、にんにく、その他野菜	3.90 ha	ha		
24	利用者 利用者3		ha	ha		ha	ha		
25	認農 認農20		ha	ha		ha	ha		
26	利用者 利用者4		ha	ha		ha	ha		
27	認農 認農21		ha	ha		ha	ha		
28	利用者 利用者5		ha	ha		ha	ha		
29	認農 認農22		ha	ha		ha	ha		
30	認農 認農23		ha	ha		ha	ha		
31	利用者 利用者6		ha	ha		ha	ha		
32	利用者 利用者7		ha	ha		ha	ha		
33	利用者 利用者8		ha	ha		ha	ha		
34	利用者 利用者9		ha	ha		ha	ha		
35	利用者 利用者10		ha	ha		ha	ha		
36	利用者 利用者11		ha	ha		ha	ha		
37	認農 認農24		ha	ha		ha	ha		
38	認農 認農25		ha	ha		ha	ha		
39	利用者 利用者12		ha	ha		ha	ha		
40	利用者 利用者13		ha	ha		ha	ha		
41	認農 認農26		ha	ha		ha	ha		
42	認農 認農27		ha	ha		ha	ha		
43	利用者 利用者14		ha	ha		ha	ha		
44	認農 認農28		ha	ha		ha	ha		
45	認農 認農29		ha	ha		ha	ha		
46	認農 認農30		ha	ha		ha	ha		